

下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地に関する報告書比較表

NO	報告書案該当箇所	検討会議配布資料【変更前】	報告書案【変更後】	理由等
1	P.1～P.2 第1 中学校再編に係る今後の方向性について	—	【新規】 第1 中学校再編に係る今後の方向性について	下田市教育委員会学校教育課として、中学校再編手法及び新中学校候補地等に関する方向性について、記載。
2	P.7～P.36 第2 保護者説明会 3 説明資料	【第1回配布資料】 ・下田市総合教育会議報告書説明資料 【第2回配布資料】 ・資料1	【再掲】 第2 下田市立中学校再編に係る保護者説明会	保護者説明会の項目にパワーポイントにて作成した説明資料を記載。
3	P.37～P.63 第3 アンケート調査及び 2 調査検証結果 質問1～質問6	【第2回配布資料】 ・資料2及び資料2-1	【再掲】 第3 下田市総合教育会議報告書中学校再編に係るアンケート調査	検討会議資料においては、グラフ版と意見版を分けていたが、報告書においては、各質問に分け、グラフ、意見の順に併せて記載。アンケート用紙追加記載。
4	P.44 第3 アンケート調査 2 調査検証結果 質問3【居住地別(保護者)】 【下田地区】保護者数	【第2回 資料2 P.6】 ①稲生沢中学校：40 ②下田中学校：123 ③その他：14	【修正】 ①稲生沢中学校：13 ②下田中学校：184 ③その他：8	数値入力誤り。 ※グラフ及び合計数【n=205】については、修正なし。
5	P.64～P.69 第4 検討会議概要	—	【新規】 第4 下田市立中学校再編検討会議概要	下田市立中学校再編検討会議概要及び、聴取した意見等について、記載。
6	P.70～P.85 第5 2中学校の比較について	【第1回配布資料】 ・下田市総合教育会議報告書(別冊) 【第2回配布資料】 ・参考資料(スクールバス年間試算額)	【新規及び再掲】 第5 2中学校の比較について	2中学校の比較について、総合教育会議報告書(別冊)記載内容や検討会議中学校視察時に配布した校舎図面及び新規にて現況諸室を追加記載。
7	P.86～P.94 第6 新中学校必要面積及び概算事業費等	【第2回配布資料】 ・資料3 ・資料4及び資料4-1	【新規及び再掲】 第6 新中学校必要面積及び概算事業費等について	新中学校の必要面積及び概算事業費等について、検討会議資料を基に作成。
8	P.87 第6 新中学校必要面積及び概算事業費等 2(1)各種条件設定 3つ目	【第2回 資料4 P.1】 表1より静岡式35人学級設定の場合、1学年最大で5学級となるため、普通教室の数は15と想定する。	【修正】 表2より静岡式35人学級設定の場合、3学年で最大14学級となるため、普通教室の数は14と想定しました。	普通教室の必要数を1学年単位の想定でなく、学校全体での想定にて算出したため、修正記載。
9	P.87 第6 新中学校必要面積及び概算事業費等 2(3)普通教室面積の想定	【第2回 資料4 P.1】 表2に示した床面積は、柱芯での床面積であり、その中にロッカーや柱型があるため実際に机や椅子、通路として使用できる有効床面積は表2よりも少ない。また昭和25年当時と比較して現在は学習方法も変化しており、現中学校の面積をそのまま運用することはできないと思われ。そこで別図に35人学級の普通教室検討モデルを示した。別図は約70㎡(9m×7.8m)としたが、配置すると35人程度が限界である。そのため別図の70㎡を普通教室の基準と設定する。	【修正】 表3に示した床面積は、柱芯での床面積であり、その中にロッカーや柱型があるため実際に机や椅子、通路として使用できる有効床面積は表3よりも少なくなります。また昭和25年当時と比較して現在は学習方法も変化しており、現中学校の面積をそのまま運用することはできないことから、別図に35人学級の普通教室検討モデルを示しました。別図は約70㎡(9m×7.8m)とし、配置すると35人程度、設置することが可能となります。そのため別図の70㎡を新築の場合の普通教室の基準と設定しました。 また、既存校舎を利用し、増改築する場合は、柱と柱との間隔を変更することが、構造的に困難であるため、現中学校の面積を普通教室の基準としました。	表番号の変更及び文章修正。また、既存校舎増改築の内容を追加記載。
10	P.89 第6 新中学校必要面積及び概算事業費等 3(1)各種条件設定 2つ目及び3つ目	【第2回 資料4 P.3】 ・新築の場合の必要諸室を検討するものとし階数は3階建て程度、既存改修の場合は既存校舎の階数を基本とする。 ・計画室数は、下田中学校をベースに想定	【修正】 ・新築の場合、階数は3階建て程度、既存改修の場合は既存校舎の階数を基本としました。 ・新築の場合の計画室数は、下田中学校をベースに想定しました。	文章修正
11	P.89 第6 新中学校必要面積及び概算事業費等 3(1)各種条件設定 【新築の場合：必要諸室】内	【第2回 資料4 P.3】 普通教室：計画室数15 総コマ数15 特別支援教室：計画室数3 総コマ数3 理科室：計画室数3 総コマ数6 美術室：大きさ1.5 総コマ数1.5 総コマ数：83.1 5.817㎡ 5.820㎡	【修正】 普通教室：計画室数14 総コマ数14 特別支援教室：計画室数2 総コマ数2 理科室：計画室数2 総コマ数4 美術室：大きさ2 総コマ数2 総コマ数：79.6 5.572㎡ 5.570㎡	大きさ(計画コマ数)及び計画室数、総コマ数の数値修正。
12	P.90～P.91 第6 新中学校必要面積及び概算事業費等 3(1)各種条件設定 【必要諸室】	—	【新規】 稲生沢中学校増築及び既設改修の場合 下田中学校増築及び既設改修の場合	稲生沢中学校及び下田中学校、それぞれの増築及び既設改修の場合の必要諸室を追加記載。
13	P.92 第6 新中学校必要面積及び概算事業費等 4 2中学校のメリット・デメリット及び概算事業費 総事業費試算	【第2回 資料4-1 P.1】 稲生沢中学校 新築：約25億円(うち市負担17億円) 増築及び改修：約19億円(うち市負担11億円) 下田中学校 新築：約27億円(うち市負担20億円) 増築及び改修：約19億円(うち市負担13億円)	【修正】 稲生沢中学校 新築：約24億円(うち市負担約19億円) 増築及び改修：約17億円(うち市負担約10億円) 下田中学校 新築：約26億円(うち市負担約23億円) 増築及び改修：約17億円(うち市負担約12億円)	総事業費については、新築、増築及び改修ともに必要諸室等を見直したことによる金額修正。
14	P.93 参考資料 市長と語る会	【第2回配布資料】 ・参考資料(平成28年度 市長と語る会)	【再掲】 参考資料① 市長と語る会	市長と語る会を参考資料として掲載。
15	P.97 参考資料 今後のスケジュール案	—	【新規】 参考資料② 今後のスケジュール案	政策決定までのスケジュール案を掲載。